第3章　第5次地域福祉活動計画の基本的な考え方



1　計画の基本理念と基本目標

□基本理念

人と人がつながる　地域がもっと好きになる

第5次活動計画では、第4次活動計画との連動性をもたせながら、こどもから高齢者まで年齢や障がいのあるなし等の違いにかかわらず、誰もが安心して暮らし続けられるように、それぞれが持っている力を発揮し、共につながり、支え合いながら、住み慣れた地域で　ふだんの　くらしの　しあわせ（ふくし）に協働で取り組めるまちづくりを目指しています。

□3つの基本目標

基本理念を実現するため、次の基本目標を設定し、地域福祉活動に取り組みます。

（1）お互いの力を活かせる　人づくり

①お互いに認め合う心を育む
②みんなが気軽に参加し、活動できる地域をつくる

地域で共に暮らしていくためには、誰もが自分らしく、共に生きることができるよう、お互いの違いを認め合うことが大切です。

就労する高齢者の増加や生活スタイルの変化により、地域のいろいろな集まりに参加し、つながりを広げるタイミングが遅くなった今、参加しやすい環境を整え、「自分にできること」、「無理なく参加できること」に意識を持ちながら、自分に合った地域との関わりを築き、お互いの違いや良さを認め合える「人づくり」に取り組みます。

（2）共に生きる力を高める　つながりづくり

①居心地のいい場所をつくり、世代や立場をこえてつながる
②協働と発信を広げ、活動を生み出す

現在は、地域での交流や助け合いの風土が薄れ、顔を合わせて話す機会が減っています。

一方で、地域には様々な困りごとを抱えた人が生活しており、そうした人たちが気軽に相談できる、参加できる活動や交流の場も十分ではありません。

地域がつながることで、様々な立場の人や団体・法人などが出会い、声をかけやすく、いざという時に助け合える関係を構築し、福祉のプラットフォーム（注8）をつくりながら、新たなつながりが生み出されるよう「つながりづくり」に取り組みます。

（3）お互いさまを実感できる 地域づくり

①支え合いで、心の豊かな暮らしをつくる

価値観や暮らし方の多様化、隣近所との関わりを負担に感じる人が増え、地域のつながりが薄れている中、地域全体で見守り、支え合える関係を広げていくことが必要です。

地域を知ることで、一人ひとりが隣近所を意識し、つながることで、地域に合わせた助け合いができる「地域づくり」につなげます。

（注8）プラットフォーム
地域のさまざまな人や団体が集まり、協力して地域の困りごとを解決するための場や機会。

2　第5次福井市地域福祉活動計画　体系

基本理念	基本目標		活動の柱		取り組みの方向性	
人と人がつながる　地域がもっと好きになる	1	お互いの力を活かせる人づくり	1	お互いに認め合う心を育む	1	自分の地域の福祉課題に気づく住民を増やし、福祉の心を広げます
					2	見守りや支え合うことの共感を育み、お互いに助け合いのできる関係づくりを広げます
			2	みんなが気軽に参加し、活動できる地域をつくる	3	誰もが参加しやすい地域活動の入口を広げます
					4	趣味や特技など多様な分野で活動できる人材を増やします
	2	共に生きる力を高めるつながりづくり	3	居心地のいい場所をつくり、世代や立場をこえてつながる	5	世代や立場をこえて、交流の楽しさや居心地の良さを感じながら住民参加を広げます
					6	安心して語りあうことでお互いを理解する機会を増やし、地域で暮らす一員として新たなつながりを広げます
			4	協働と発信を広げ、活動を生み出す	7	幅広い関係機関・団体、企業等の強みを活かして、地域福祉活動を広げます
					8	世代や立場に合わせた広報媒体を活用し、新たなつながりをつくります
	3	お互いさまを実感できる地域づくり	5	支え合いで、心の豊かな暮らしをつくる	9	お互いさまを実感できる関係性を地域に広げます
					10	災害時にも発揮できるつながりを目指した見守り支え合い活動を広げます